

アートを聴いて観て感じて

11期 ミュージアムに行こう2

第5回 竹久夢二 ～画家は詩人でデザイナー～

- ★【事前学習】： 9月14日(木) 嵐山のミュージアム(福田美術館)へ行こう
場所： 豊中市生活情報センターくらしかん
講師： 竹本理子氏 (福田美術館 副館長 ・ 嵯峨嵐山文華館 副館長)



【概要】

- 福田美術館の紹介 ① コンセプト ② 建築の特徴 ③ コレクション
- 企画展「竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー」の見どころ
 - ① 前提: 生誕140年 没後100年 夢二が生きた時代
 - ② 夢二式美人
 - ③ 山あり谷あり 夢二の人生
 - ④ 代表作を一挙公開
 - ⑤ 小説家・押絵家の顔
 - ⑥ グラフィックデザイナーとしての顔
 - ⑦ カワイイの元祖
 - ⑧ 夢二芸術の原点
- 嵯峨嵐山文華館の紹介
企画展 「ふあん ファン Fun ～扇子いいね」の見どころ
常設展 百人一首ヒストリー

竹久夢二といえば 一世を風靡した美人画を想像するが、他に雑誌の押絵、楽譜の表紙デザイン 俳句、作詞など多彩な才能を発揮していた。

美人画の絵の特徴は、背が高くてほっそり、顔が、小さく大きな眼、手だけは、しっかりと大きく描かれていることに注目したい。

嵯峨嵐山文華館の「百人一首ヒストリー」にも興味がそそられ、鑑賞会が楽しみです。

★【鑑賞会】 福田美術館 9月21日(木)

竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー

京都・嵐山にある福田美術館が所蔵するコレクションが一挙公開され、竹久夢二の魅力が詰まった作品の数々を鑑賞する事ができました。

第1章「夢二式美人の魅力」から始まり、絵でたどる夢二の人生、小説も書ける挿絵画家になったかと思ったら、楽譜の表紙デザイン・詩人・グラフィックデザインと幅広く活躍する陰で、女性&愛をもたらす人間模様も複雑で、興味深くワクワクしながら楽しめました。

また、スマホからQRコードを読み込めば無料で音声ガイドを聞くことができたり、写真撮影が許可されていたことも嬉しかったです。



夢二式美人 《特徴》

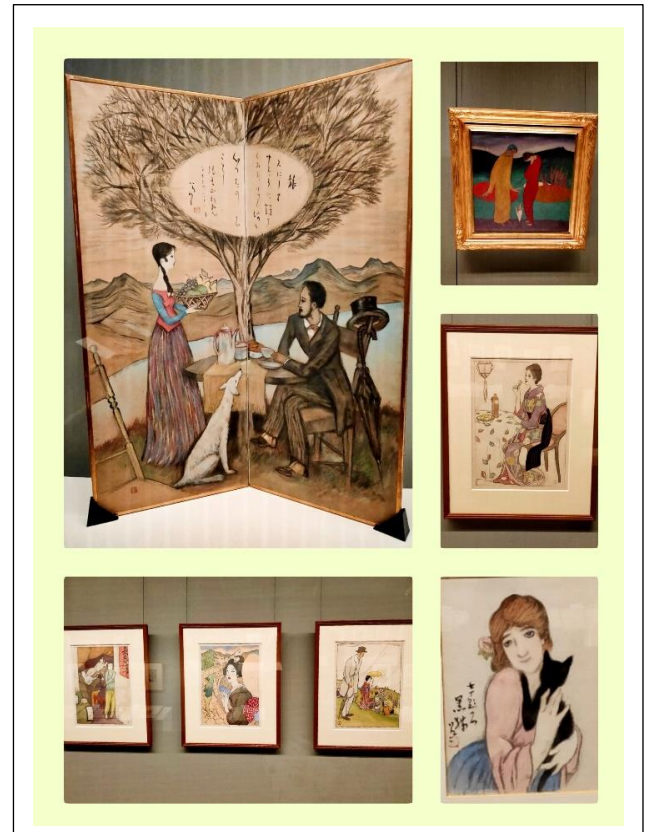
- * 背が高くてほっそり、顔が小さく大きな目
- * モデルは身近な女たち
- * しどけない姿に興味を惹かれる
- * 手だけはおおきく描かれている
(手フェチ?)

夢二が生きた時代＝世紀末芸術

キーワード:グラフィックデザイン

- * 象徴主義 官能・退廃の美
- * アーツ&クラフツ運動

★人生山あり谷あり★





- * 小説も書ける挿絵画家
- * グラフィックデザイナーとしての顔
- * カワイイの元祖
(ファンシー雑貨の先駆け)



夢二芸術の原点 ～スケッチ

- * 常に手放さなかったスケッチブック
- * 雑誌や新聞のコマ絵

嵐山の風景と
マッチした素敵な
和モダンな美術館
だわあー♥



福田美術館の紹介
コンセプト《100年続く美術館》

- * 2019年10月1日オープン
- * モダンな素材(ガラス・大理石)
- * 伝統の意匠(網代・市松)
- * 世界最高峰の透明度硝子
- ★歴史を踏まえた構成★



嵯峨嵐山文華館

『ふあん ファン FUN』〜扇子いいね
 百人一首と日本画の粋を伝えるミュージアム
 二階からの眺めは、まさに日本画の世界
 カフェ嵐山 OMOKAGE テニスもいいね♪

竹本先生が副館長を両立されている『嵯峨嵐山文華館』にも足を運びました。百人一首ヒストリーの「歌仙人形」のフィギアが可愛かったです。2階には、百人一首の聖地となる大畳ギャラリーで繰り広げられる競技かるた大会を思い浮かべながら、ゆっくりと日本画作品を鑑賞できて、幸せなひと時を過ごしました。

お待ちかねの昼食は、渡月橋からすぐの、由緒ある邸宅を改装した「豆腐料理 松ノ枝」でいただきました。最高に美味しかったです。

